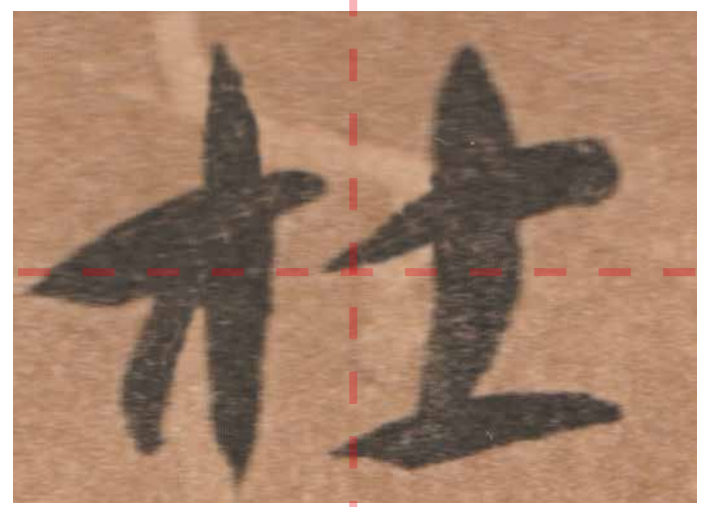


（蔵書のところには）後漢に草書にすぐれ草聖とまで言われた杜度の書いた草書、隸書で多年苦心し後世に称される魏の鍾繇しゅうようの隸書のものがあり、



と
こう
しょう
れい

あり、



冬

或いは漆で書かれた最も早い時期の書物、秦の焚書坑儒の暴政で文化的に大打撃を受けた時、孔子の旧宅で壁中に隠して、後に出てきた經典もあったであろう。

漆

しつ

本

しよ

壁

へき

經

けい

あり。



官庁には武官文官の統率者がずらりと控えており、

府

ふ

には

将

しょう

相

しょう

羅

つら

なり、



陽●



陽●

歌

大通りには三公九卿の邸宅
が両側にある。

路

みち

は

かいきょう

つ

に

俠

はさ

まれり。

※槐卿Ⅱ三公九卿、三公は天子を補佐する最高官、
周では大師・太傅・太保
前漢では大司馬・大司徒・大司空
後漢では太尉・司徒・司空。



佳灰



庚

（前の三公等の勲功に対して）三公には民戸八県分を与えられ、



と

は



はち



けん

に



ほう

ぜられ、



先●

冬

家^かには千^{せん}兵^{へい}を^{たま}給ふ。

戦攻のあった民には千人の兵士を給してその攻をたたえた。

千

隋 智永
真草千字文

兵

唐 孫過庭
書譜

家

隋 智永
関中本千字文

給

隋 智永
関中本千字文

先

庚

麻

●

（高官が）高い冠をつけて天子の車の御供に加わり、

冠

かんむり

を

高

たか

くして

輦

れん

に

陪

ばい

し、



灰

豪●

寒●

車を走らせて冠の紐がゆれつつ進む。



こく



か



えい



ふる



●真

虞



庚

●

代々棒禄を受けている（高い位の）官吏の家は奢り豊かであり、

世 せ

禄 ろく

は

侈 し

富 ふ

にして、



車を引く馬は肥えてたくましく、車も軽やかに走る。

車

しや

駕

が

肥

ひ

輕

けい

あり。



微

麻魚



庚●

●